

学校教育目標						
心豊かな なかじまっ子 の育成 < なかよくあかるい子 かんがえくふうする子 じょうぶでねばりづよい子 まじめでよくはたらく子 >						
目指す学校像(ビジョン) (1) 児童が楽しくのびのびと学ぶことができる学校 (4) 児童、教職員が一体となり、環境整備、美化活動に取り組む学校 (2) 児童が自らよく考え、自ら判断し行動する学校 (5) 規範性、感性、体力、コミュニケーション能力を育てる学校 (3) 自尊感情を大切にし、命を大切にする学校 (6) 教職員が自らを開き、相互信頼と協働態勢のある学校						
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価		次年度以降の課題と対応策
				努力	成果	
学力の 向上	指導方法、評価の、工夫・改善を図り、分かる授業を創造することによって、確かな学力を育てる。	基礎・基本定着状況調査等を生かして授業改善を図る。	基礎・基本の学力テストの調査を分析し、各学年に応じた指導方法を段階的に取り入れる。	3	3	・領域別テスト、児童アンケート(実態調査)を継続する。
		研究テーマに沿って、全員の授業公開、研究協議を行い授業改善を図る。	全員の授業公開・研究協議を行い、全体研究会・研修会を年4回以上開く。	4	3	・自分の思いや考えをしっかりと伝え合う力が十分に育っていない。 ・ことばの教育やひろしま型カリキュラムを踏まえ、今後も継続して取り組む。
人間性の 育成	望ましい生活習慣、正しい判断力、思いやりの心などの豊かな人間性の育成に努める。	基本的な生活習慣の定着を図る。	生活習慣調査により基本的な生活状況を把握し、年3回以上、生活習慣がんばりカードを実施する。	4	4	・これまでの継続的な取り組みの効果が表れていると、考えられるので、今後も児童や家庭への働きかけを継続していく。
			病気の予防や健康維持のために保健だよりを定期的に発行する。	4		
		道徳の時間を充実させ、規範性、思いやりの心を育てる。	道徳の副読本及び「心のノート」等を活用する。	4	4	・児童アンケート(実態調査)を継続する。
		あいさつのあふれる学校生活をつくる。	「心のノート」やあいさつカードを活用して自然にあいさつができるように働きかける。	4	3	・重点目標として自然にあいさつができるように働きかける。
	安全教育、健康教育、体力づくりの推進を図る。	児童の安全意識の向上、教職員の危機対応能力の向上を図る。	5つの約束を守るように働きかける。	4	4	・繰り返し安全意識の向上を図るとともに、年1回以上外部の指導を受ける。

健康教育の 推進		日常の学校生活における体力づくりの習慣化を図る。	体育朝会での運動や遊びの紹介を通して、継続的に取り組むように働きかける。	4	4	・運動の苦手な児童や肥満傾向にある児童に対して、楽しく取り組める運動を取り入れたり、教師が積極的に声かけをしたりする。
			意欲的に運動や遊びに取り組むようがんばりカードを活用する。	4		
			1週間に1回以上、クラス全員で外で遊ぶ日を設ける。	4		
まちぐるみ による 教育の推進	地域に開かれた信頼される学校づくりに努め、地域と連携した教育活動を推進する。	地域教材、地域人材を授業に活用する。	全学年、年1回以上、地域や各部門の専門的指導者・ゲストティーチャーから指導を受けたり体験交流を行ったりする。	4	4	・次年度も教師アンケート、児童アンケートを継続する。
		地域・保護者への情報発信を充実させ開かれた学校づくりに努める。	学校の情報を、広く地域・保護者に知らせる。	3	3	・「学校へ行こう」週間等の諸行事の内容をより分かり易く地域・保護者に知らせる工夫をする。